

コンテンポラリーアートの作品売買に特化した日本最大級のインターネットギャラリー !!

「アットギャラリー タグボート(@Gallery TAGBOAT)」
アートサイトとしては異例の月間5万人のアクセス獲得。

- コンテンポラリーアートの“アート通”がサイトで育つ! -

コンテンポラリーアートへの関心の高まりとファンの増加
タグボートサイトやアートサイトで“アート通”が育成
関心が高まる海外のアートフェア この秋光州、上海でも大規模な国際展

マーケットアウトという理念に基づいた事業を展開する株式会社エムアウト(本社:東京都港区 社長:田口 弘)では、絵画事業として昨年よりコンテンポラリーアートの作品売買に特化した日本最大級のインターネットギャラリー「アットギャラリー タグボート(@Gallery TAGBOAT 以下タグボート)」(<http://www.tagboat.com/>)を運営しています。

昨年10月のオープン以来、タグボートサイトの訪問者は順調に増加し、現在は平均2000人/日の訪問者を獲得しており、アートサイトとしては異例の月間5万人ほどが訪れています。リピート率も40%以上とファン化率が高いのは当社サイトの特徴ですが、その理由の一つとして、豊富なオリジナル・アート情報コンテンツが挙げられます。さらにその背景として、こだわりのあるライフスタイルからコンテンポラリーアートへの関心が高まり、ファンが増加していると考えられます。

当社のサイトを訪れるファンの声からも“アート通”が増えていることが伝わってきており、インターネットならではのスピードをいかしたタグボートサイトが情報源としてお役に立っていることが分かりました。

当社は、今後もお客様視点から様々なサービス拡充に努め、生活者視点から顧客満足を追求し、日本における絵画(アート)市場の拡大に貢献していきたいと考えています。

インターネットの情報スピードをいかして“アート通”を育てるタグボートサイト

情報のボーダレス化を背景に、今求められるこだわりのあるライフスタイルに欠かせないものとして、海外アートイベントなども含む、コンテンポラリーアートに関する話題が身近なものとなりつつあります。ファッション誌などでのアート特集が目立つようになり、インテリア誌でもアートを取り込んだ企画が組まれたり、Esquire増刊からアート&ファッション誌Lucaが季刊化されたりと、アート情報の一般化が進んでいます。以前は一部専門誌でのみ扱っていたような海外でのアートフェアなどについても、徐々に一般の関心が集まっています。アートは今やカルチャー情報として、外せない要素と言ってよいでしょう。

タグボートでは、実際のアート売買の現場から直結したワールドワイドなアート情報を、インターネットならではのスピードでサイトに掲載しています。どこよりも早く、リアルかつ親しみやすい海外アート情報

を掲載するタグポートで、他に先んじてのアート通になれることは間違いありません。

また、インターネットの普及により海外のアート関連情報も見ることが容易になり、これまで関係者や専門家に注目されていなかったような海外アートフェアへの関心が高まっています。当社のタグポートサイトに加え、海外のアート関連サイトを活用すれば、まさに最新のアート情報を入手できる“アート通”になることができます。

高まる海外アートフェアへの関心

この秋は光州、上海とアジア地区での大規模な国際展が開催されることも手伝ってか、海外アートフェアへの関心が高まっています。

モーターショーなどをはじめとする様々な業界見本市と同様、アートの見本市も年間を通じて世界各地で行われています。主要なところでは、毎年3月にニューヨークで行われるアーモリーショー、6月にはスイスのバーゼル(時計や宝飾品の見本市で有名)でバーゼルアートフェア、また来月10月にはロンドンでフリーズアートフェアが開催されます。それぞれ個性のある見本市で、世界中からギャラリスト、アートディーラー、コレクターやキュレーターたちが集まり、最新のアートのトレンド情報交換と発信の、また活発な商取引の場としての機能を果たしています。

現在サザビーズやクリスティーズなどの著名オークションで高値落札され話題を集めている村上隆や奈良美智などの日本人アーティストも、こうしたアートフェアへの出品を経て、知名度を上げてきました。

また、アートフェアは世界中の富裕層が集まる場でもあり、例えばバーゼルアートフェアには、ドイツ銀行やブルガリなどがメインスポンサーとして協賛しており、イベントプレビューやパーティーへの招待など上顧客へのステイタスあるもてなしに活用され、大人の社交場としての役割も果たしています。

もちろん、業界プロやステイタスを求める企業の販促活動に利用されているといっても、閉ざされたイベントではなく、一般公開期間には一定の入場料で一般公開されており、美術館にコレクションされる以前の、最新のアート・トレンドを目の当たりにすることができる場でもあります。

また、アートのトレンドや作家の知名度・価格を左右していくもう一つの仕組みに、国際展があります(出品作品すべてに値札がある見本市とは異なり、会場での直接売買は行われません)。戦前より隔年開催されてきた世界最大級の国際展、ヴェネチア・ビエンナーレや5年に一度のドクメンタなどが有名ですが、近年では光州ビエンナーレ、上海ビエンナーレ(いずれも本年9月~11月開催中)などアジアのパワフルな動きが目立っています。

【これからみられる注目のアートフェア・アートイベント】

上海ビエンナーレ(上海・中国)Shanghai Biennale 2004/9/29-2004/11/28

<http://www.shanghaibiennale.com/2004/>

1994年にスタートした中国最大級の国際展で今年5回目を迎える。本年は“techniques of the visible(映像の技術)”のテーマのもと、アジア、アフリカ、欧米より120名以上のアーティストの作品を一同に展示。アートにおいても重要度を増すアジア太平洋地区のアート動向の存在感を示すものである。

フリーズアートフェア(ロンドン・UK)Frieze Art Fair 2004/10/15-10/18

www.friezeartfair.com/

2003年にスタートした英国最大級のコンテンポラリーアートフェアで、昨年度は4日間で27,000人を動員した。質の高さで定評のあるアート雑誌「frieze」が主催。トレードフェアとしてだけでなく、アート・アトラクションとしても充実した内容で楽しめる。

フィアック(パリ・フランス)FIAC 2004/10/21-25

<http://fiac.reed-oip.fr/>

モダン & コンテンポラリーの国際アート見本市。2004年度はフランス内外217画廊が参加。欧州のコンテンポラリーアート事情がよくわかる。

アートバーゼルマイアミビーチ Art Basel Miami Beach 2004/12/2-12/5

<http://www.artbaselmiamibeach.com/ca/cc/ss/lang/eng/>

アートバーゼルのマイアミビーチ版。出展のギャラリーやクオリティはアートバーゼルに準拠する。

アーモリーショー Armory Show 2005/3/10-14

<http://www.thearmoryshow.com/index2.php>

アートマーケットの中心地ニューヨークで毎年3月に行われるコンテンポラリーアートの見本市。世界中から170余りの主要な画廊が参加し、コレクター、批評家、アーティストなど数万人を動員する大イベント。

アートバーゼル 36 Art 36 Basel 2005/6/15-20

<http://www.artbasel.com/ca/bt/kg/>

セレクションの厳しさと定評があり、伝統と高いクオリティを誇るコンテンポラリーとモダンアートの見本市。この見本市に出展できることはギャラリストにとってもステータスであり、アートのオリンピック(ニューヨークタイムズ)とも呼ばれるほど。世界中から200以上の厳選されたギャラリーが1500人のアーティストの5000点以上を展示、世界中から5万人以上の入場者を集める。

海外アートシーンで話題の作家による手の届く作品をいち早く提供するタグポート

タグポートでは、もちろんアート情報ばかりでなく、海外のアートシーンで話題を集める作家たちの、手の届く作品を取り揃えています。例えば前回アーモリーショーで人気を集めていた新人エリザベス・ヤングの写真作品やパーゼルアートフェアでパロワーズ賞を受賞、来月のフリーズアートフェアでもパブリック・プロジェクトが予定されているアレクサンドラ・ミアの作品をいち早く紹介するなど、旬のアートをお届けいたします。

	<p>エリザベス・ヤング「日向(サニー)」 183,750 円(額装費・消費税込)</p> <p>昨年のアーモリーショーで注目を集めた若手作家の作品。 タグポートサイトで紹介したところ、圧倒的なヴィジュアルインパクトで常に人気ランキング上位に上がる作品になっています。</p>
	<p>アレクサンドラ・ミア「ザ・ビッグ・アンブレラ」 446,250 円(額装費・消費税込)</p> <p>先だっのパーゼルアートフェアでパロワーズ賞を射止めた期待の新人。通常の 4 倍の人数が入れる巨大傘が世界各地に現れるという奇想天外なプロジェクトを行い、写真作品化したもの。ミアは今秋のフリーズアートフェアでもプロジェクトを予定しています。</p>
	<p>クリス・オフィーリ「アフロ ルナ ラバーズ」 195,300 円(額装費・消費税込)</p> <p>最大級の国際展ヴェネチア・ビエンナーレで昨年英国館の代表だった作家がオフィーリ。本作は、そこで発表された『アフリカの恋人達』をもとに制作されたもの。</p>

タグポートは、歴史的に閉鎖性が高く、一般の方々にとっては敷居が高かった「絵画」の取引(売買)をインターネット上で展開する事業です。これまで極めて分かりづらかった絵画マーケットにおいて、“透明性の確保”を最優先した独自のビジネスモデルを展開していることが最大の特徴です。価格、品質、返品・買取、関連情報の提供などにおいて公平で的確な情報開示を行うことで、お客様に安心を提供し、徐々に信頼を獲得してきました。

取り扱い作品は、オフィシャルアドバイザーが厳選したコンテンポラリーアートに特化しており、アンディ・ウォーホル、キース・ヘリング、ジャン＝ミシェル・バスキア、ダミアン・ハーストなどの大御所から新進気鋭のアーティストまで幅広く網羅しています。サイト上では、常時 100 人以上のアーティストの作品を展示(作品点数としては常時 300 点以上)しており、お客様の感性に合う作品を自由にお選びいただくことができます。販売作品の価格は 10 万円前後から 200 万円台まで幅広く、平均単価は 20 万円台となっています。

より多くの生活者にアートのある生活の楽しみを！ アートマーケットの拡大に向けてチャレンジしていきます。

2004 年 10 月で 1 周年を迎えます。これまで当サイトには多くのお客様に訪れていただき、お客様の声に耳を傾けながら、お客様とともに進化してきました。

新たな取り組みとしては、2004 年 7 月よりお客様が希望される作品を当社が購買代理する「お探しサービス」をスタートしました。

日本国内におけるアートオークション市場は近年順調な伸びを見せており、100 億円規模に成長しているといわれています。しかしながら、世界のアートオークション市場の約 42%を占めるといわれる米国の市場規模は、約 9 億ユーロ(約 1,200 億円)となっています。日本では、価格面や流通面における不透明さを抱えた一部の富裕層のための閉鎖的マーケットとなっていることがその要因であると見られており、当社では日本における潜在市場は大きいと考えています。

日本における絵画取引の課題を解決し、オープンでフェアな仕組みを作り、お客様の利益の最大化を図るタグポートの挑戦は、まだ始まったばかりですが、今後も、顧客視点からサービスの拡充を図り、より多くの人々にアートを身近に感じていただき、アートの価値を伝えていきたいと考えています。作品の情報や取引に関する情報のみではなく、お客様が必要とするアートに関する様々な関連情報を提供することで、お客様にアートに興味を持っていただき、インテリジェント・カスタマーとして育ていただくことが市場の拡大に繋がっていくと期待しています。当社では IQ(知能指数)、EQ(情動指数)のような見地から、「AQ(Art Quality)」というものを提唱し、お客様の AQ を高めることにより、より豊かなライフスタイル、アート文化の創出に貢献していきたいと考えています。

(* 上記の市場データは、「Artprice.com」より引用。)

株式会社エムアウト 会社概要

株式会社エムアウトは、FA 部品や金型部品などを中核事業とする専門商社、株式会社ミスミ(東証一部上場)の代表取締役を務めた田口弘が設立した企業です。徹底して市場本位の視点に立ち、そこから商品やサービスを開発・提供する「マーケットアウト」という思想に基づいた“起業専門企業”です。絵画事業を初め様々な事業を展開しています。

・商号	株式会社エムアウト (M-out Inc.)
・設立	2002年 10月 (会社登記 1995年 3月)
・代表取締役社長	田口 弘
・資本金	5,000万円
・事業内容	絵画事業 ライフクリエイイト事業(メンタルサポートサービス) アイデクト事業(ジュエリーリフォーム)
・社員数	35名 (2004年 8月 1日現在)
・本社	〒107-0062 東京都港区南青山 2-11-16 AIG 青山ビル 6F TEL 03(5412)8610 FAX 03(5412)8615
・URL	http://www.m-out.com/

本件に関するお問い合わせ先

アットギャラリー タグボート(@Gallery TAGBOAT)広報事務局 担当 : 小林

〒102-0084 東京都千代田区二番町2番地平田ビル 4F (株)パラフ内
TEL / 03-3556-7188 FAX / 03-3556-7177